

カリタス幼稚園

建築主 学校法人 カリタス学園

設計・監理 SOU 建築設計室

施工 戸田建設



十字架の大階段



カリタスの森から園舎をみる

建築最新事情 SOU 建築設計室



中庭から十字架を見上げる



2階オープンスペース



螺旋階段からテラスと園庭をみる



中庭



宗教室

カトリックの精神をはじめ、 多様な体験のきっかけを散りばめる

川崎市にあるカリタス幼稚園の建て替え計画。
本園はカトリック園であり、モンテッソーリ教育を行っている。

モンテッソーリ教育では実体験からの学びを重視しているため、多様な体験のきっかけとなる場所を散りばめ、子どもたちが居心地のよい場所を自ら見つけ、過ごすことのできる園舎をめざした。

本園は幼稚園から中学校までの一貫校で、一団地にキャンパスを形成している。新園舎は、幼稚園、小学校、中学校が向かい合うように配置しキャンパスの一体感をつくり出すことを意図した。さらに、その幼小の中心に、新たな育ちの場としてカリタスの森（植栽エリア）をつくり、キャンパスに潤いを与えている。

園舎は2棟(A棟・B棟)の分棟型で、両棟をブリッジでつなぎ、全体で園庭を囲むよう配置した。園児たちの活動に十分な、広すぎない適度な園庭を広場的につくり上げた。園舎は幼稚園の主たる機能を担うA棟、付帯機能(預かり保育など)を担うB棟に区分した。A棟では、保育室はオープンスペースに面して設け、壁を一切設けず、モンテッソーリの活動に合わせて自由に活動を展開していけるつくりとした。

B棟は、コンパクトな部屋の大きさと低めの天井により、家庭的な雰囲気をつくりだしている。

また、本園の特徴であるカトリックの精神を感じることができるよう、A棟の中心には宗教室を設け、中庭を介して常に保育室から見られる構成とした。園庭の正面の大階段にも象徴的な十字架を配置し子どもたちの育ちを見守る雰囲気をつくりだした。(清水義文)



ホール



図書室



保育室内ワークスペース